

意見発表者1(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

流域の水が健やかになることを願って水の勉強をしてきました。そこで埼玉県は、洪水に脆弱な沖積低地が県土の約4割を占め、そこに人口・資産が集中し、その急増した県民に安定供給できる水が足りないことを知りました。

流域の環境保全の点からも、ダムに代わる水は地下水と農業用水しかありません。地下水は永い時間をかけて作られる地球規模の水。農業用水は、埼玉ではすでに二百数十万人分もの水を転用しました。残された水は人間以外の生きものたちに残しておいてほしい。私たち人間の水は自前で用意すべきと考えます。

ハッ場ダムは埼玉にとって待ちに待ったダム。時間はかかりましたが機動隊を導入することなく水源地の方々の理解と協力をいただいたダムです。私たちの水道料金も永年投入してきました。この2年の空白に深い憤りを感じますが、再検証でその有効性が再確認された以上、一刻も早い建設再開を望みます。